

大江首席交渉官代理とカトラー米国通商代表部代表補の協議後記者会見概要

日時：3月12日（水）18:20～18:40分

場所：ナショナル・プレス・ビルディング内（米国、ワシントン DC）

1. 冒頭発言

今までずっと交渉をギリギリまでやってきた。私は昨日今日の2日間交渉を行ってきたが、今回は他のチームも一緒に訪米している。この一週間、農産品についての交渉を行っているが、農産品だけでも品目が多いので、それぞれの品目について同時並行で作業をしている。交渉は、まさに簡単ではなくタフなものである。私もここ数ヶ月間、このプロセスをやってきており、日本、米国、また他の第三国でも交渉を行ってきた。今回、大きなブレイクスルーはなかったが、全く進展もなかったということではない。少しずつガラス細工を積み重ねていくような作業を行っており、引き続き、このプロセスを続けていこうということになった。次回の会合日程についてはまだ決まっておらず今後調整していくが、次は日本で開催する可能性が高いのではないかと思う。

2. 質疑応答

（記者）他の交渉担当官も並行して交渉を行ったとのことだが、交渉担当官はどのくらいの期間、交渉を行ったのか。

（大江代理）基本的には今週一杯、交渉を行っている。担当の交渉品目によっては前半のみ、あるいは後半のみ、また担当によっては長い場合は一週間当地に滞在している担当官もいる。それぞれのレベルでの交渉を続けている。

（記者）大江代理からカトラー一次席通商代表代行に対し何らかの提案を行ったのか。

（大江代理）提案をしたのかとか、カードを切ったのかとか良く聞かれるが、いろいろな品目があり、また品目の中にもいろいろな要素がある。一つの品目の中でも組み合わせてランディング・ゾーンを探る作業であり、提案を出し合うというのではなく、頭の体操をしながら、ここはどうならないかとか、この点はどうならないのか等探りつつ進めている。

（記者）重要5品目について交渉をされたとのことだが、今回の協議でどのような話し合いを行ったのか。先ほど、わずかな前進と言ったが、どのような進展があったのか。

（大江代理）私の口からは何も言えない。私は重要5品目に専念しているが、5品目の中でも品目の中でいろいろな特性があり、それぞれの要素があるので、どういう組み合わせで、どういうことでお互いにギリギリで折り合えるかを話してきた。こちらも国会決議等があり、出来ることが限られているし、米国側もステークホルダーがあり出来ることが限られているので、双方の隔たりが大きいという状態が依然として続いている。

（記者）歩み寄りがあったのか。

（大江代理）大きなブレークスルーがあったとは言えないが、来る前に比べれば進展はわずかながらではあるが、なかったわけではない。

（記者）2日間で、一番時間をかけた品目は何か。どれだけ時間をかけたのか。

（大江代理）私の口からは言いにくいですが、皆さんもいろいろな報道をフォローしておわかりのとおり、米国のステークホルダーの関心が強いところがあるので、それらにほとんど特化して交渉した。5品目の中でも、ステークホルダーの関心の高さは違う。日本にとってもセンシティブで、向こうのステークホルダーの関心も高いものにつき折り合いがつきにくいので、一番折り合いがつきにくい品目を中心に議論した。

（記者）米側からは交渉妥結の時期は交渉の質が決めるとの趣旨の発言が散見されるが、日米としてオバマ大統領の4月の訪日までの妥結にこだわらないということか。

（大江代理）交渉ごとなので、はじめに期限を決めて、どのようなものでもそれまでに決めるということではない。お互いに限度がある。お互いの接点があれば、それでまとめるということである。ある期限までにまとめるということではない。できる限り早くしたいので、そこは一つの目処にはなる。ただ、期限、デッドラインというほど強くはない。

（記者）その関連で、4月下旬までだいたい作業の手順としてこういう作業を行う等の申し合わせはあったのか。

（大江代理）作業を申し合わせたというよりも、数ヶ月前から同じ作業をしており、そろそろ折り合いをつけないと、永遠に同じことを繰り返していても仕方がない。去年は年末のシンガポールでの閣僚会合までにということがあったが、その後今まで来ているので、一日も早く折り合いをつけたいと思っている。

（記者）最終的な合意を１０とすると、現状は何合目か。

（大江代理）何合目かという質問をよく受けるが、翌日の新聞に書かれたりすると、憶測を呼ぶのでお答えできない。まだ頂上はなかなか見えてこないくらい遠いという印象。

（記者）日米の立場の差は縮まったのか。

（大江代理）ブレークスルーはなかったが、少し進展はあった。

（記者）具体的にはどのような進展があったのか。

（大江代理）交渉の中身についてはお答えできない。まだ道のりは長い。

（以上）